

低温工学・超電導学会

2022 年度第 3 回材料研究会／九州・西日本支部合同研究会のご案内

電子顕微鏡は物質や材料の開発において構造や組織を正確に解析する上で必要不可欠なツールであり、現在では 0.1 nm レベルでの組織観察が可能となっています。本研究会では、電子顕微鏡による材料評価技術と題して、超伝導材料のバルク体や薄膜の微細組織の観察方法や組織と特性の相関、また半導体や誘電体などの機能材料における電子顕微鏡を用いた先端的解析やその場観察についてご講演いただきます。なお、本研究会は材料研究会と九州・西日本支部の合同研究会として、オンサイトおよびオンラインのハイブリッド形式で開催します。また、支部の若手セミナーおよび支部研究成果発表会と連日で開催し、現地で合同懇親会を行います。

テーマ：電子顕微鏡による材料評価技術（顕微鏡を使ってできること）

日時：2022 年 11 月 11 日（金）13:30～17:00

開催方法：ハイブリッド形式

場所：鹿児島大学 郡元キャンパス 産学交流プラザ1 2F セミナー室（下記マップの A-31-1）

https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/kadaigaiyo2022_ca10.jpg

〒890-8580 鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 24 号

及び Zoom 会場（オンライン） オンライン申込者には別途、会議用の URL をご案内します

※緊急事態宣言等の自粛要請発動の折には、現地での開催を中止してオンライン開催とします

共催：鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター

プログラム

13:30～13:35	開会の挨拶	材料研究会副委員長	土井俊哉（京都大学）
13:35～14:20	各種電子顕微鏡法を用いた多結晶超伝導材料の微細組織解析		嶋田雄介（東北大学）
14:20～15:05	FIB-SEM を用いた REBCO 超電導層の 3 次元構造解析		加藤丈晴（JFCC）
15:05～15:20		休憩	
15:20～16:05	アモルファス GeSn の構造と結晶化過程のその場観察		石丸学（九州工業大学）
16:05～16:50	電子顕微鏡で観るセラミックスの機能と動作		佐藤幸生（九州大学）
16:50～17:00	閉会の挨拶	九州・西日本支部長	小田部壮司（九州工業大学）

夕刻 懇親会（現地参加者）※ 感染予防を対策した上で開催いたします

参加費：資料代 2,000 円（申込者には別途、資料の電子データをメールなどで配布します）

支払方法：PayPal（申込者には別途、支払い用の URL をお伝えします）

※PayPal による支払いが困難な場合は銀行振込も対応できますので、その旨ご連絡ください

世話人：寺西 亮（九州大），木内 勝（九工大），舩木 修平（島根大）

申込先：寺西 亮宛てに電子メール or お電話

E-mail：teranishi@zaiko.kyushu-u.ac.jp Tel：092-802-2970

申込〆切：2022 年 10 月 28 日（金）

申込内容：①参加者氏名，②所属，③電話・E-mail，④現地参加 or オンライン参加，⑤懇親会参加 or 不参加，
⑥PayPal 発行書類以外の領収書の要 or 不要（要の場合は宛名をお教えてください），
⑦支払方法（PayPal 以外の場合のみ回答）

研究会翌日に開催予定の支部若手セミナーと研究成果発表会へも奮ってご参加ください（別途、会告案内あり）。